

研修No. 47

2022年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2023年 3 月 31 日
研究・研修課題名	「学会認定・自己血輸血看護師」資格維持のために必要な研修への参加
研究・研修組織名(所属)	輸血部
研究・研修責任者名(所属)	日高 経子(輸血部)
研究・研修実施者名(所属)	日高 経子(輸血部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input type="checkbox"/> その他の成果()
該当者名(所属)	日高 経子(輸血部)
学会名(会期・場所)、認定名等	学会認定・自己血輸血看護師
演題名・認証交付元等	日本自己血輸血・周術期輸血学会
取得日・認定期間等	2019年11月1日 取得(2019年11月1日～2024年10月31日)
診療報酬加算の有・無	<input checked="" type="checkbox"/> 加算有() <input type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容**① 目的**

自己血輸血では細菌汚染や迷走神経反射などの危険がある。これらの危険を回避し、安全な自己血輸血を推進していくために、看護師には正しい知識と技術が求められる。このような看護能力をレベルアップし、安全な自己血輸血を推進していくために、認定資格維持に必要な研修会に参加し、必要単位を取得する。

② 方法

- 1) 第36回日本自己血輸血・周術期輸血学会(広島市(Web開催の可能性あり)、2023年3/10～3/11)に参加し、認定資格維持に必要な単位を取得する(10単位)。
- 2) 第29回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム(東京都(Web開催の可能性あり)、2022年10/28～10/29)に参加し、認定資格維持に必要な単位を取得する(5単位)。

③ 成果

- 1) 第36回日本自己血輸血・周術期輸血学会は2023年3/10～3/11に開催予定であったが、2023年6/16～6/17に延期になった。そのため2022年度は学会には参加していない。2023年6/16～6/17(広島市)に参加する予定にしている。
- 2) 第29回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム(東京都、10/28～10/29)にWeb参加した。28日の特別公演2「献血採血時のリスクマネジメント」、「看護師ブラッシュアップセミナー」、29日のシンポジウム3「CAR-T細胞3製剤 徹底比較 ～準備から効果まで～」をWeb視聴した。
 - ・「献血採血時のリスクマネジメント」では血液センターでのVVR予防の取り組みなどについて講演されていた。水分補給の重要性を強調されていた。また、塩分タブレットを食べてから献血をするという試験的な活動も紹介されており参考になることも多かった。自己血貯血時の看護としてVVR予防は重要であり、今回学んだことも参考にし、取り入れていきたいと思う。
 - ・「看護師ブラッシュアップセミナー」では第一部は救急現場における緊急輸血、第二部は看護テキスト改訂のポイントについて講演された。普段の業務で血液製剤の発注、払い出しなどはしているが、

(様式1)

緊急現場での緊急輸血がどのように行われているのかは知らなかったので、勉強になった。また、血液製剤の適正使用について知識を得ることができたので、今後も血液製剤の有効利用の推進を図り、安全な輸血医療を実施できるようにしていきたいと思う。

・「CAR-T 細胞 3 製剤 徹底比較 ～準備から効果まで～」では CAR-T 細胞 3 製剤（キムリア、ブレヤンジ、イエスカルタ）の違いなどについての講演だった。輸血部看護師としてキムリアのリンパ球採取に関わることもあり、今回学んだことを今後の看護に生かし、輸血医療に貢献できるようにしていきたいと思う。